

# 脱炭素化のための 民生部門エネルギー需要モデル開発



キーワード 脱炭素化、エネルギー需要シミュレーション、技術選択、  
人行動

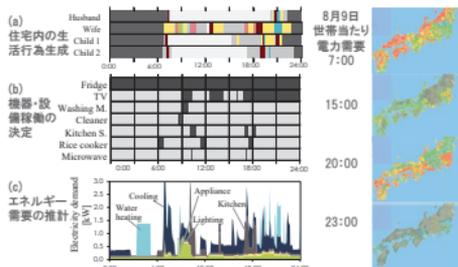
山口 容平 YAMAGUCHI Yohei

環境エネルギー工学専攻 准教授

共生エネルギーシステム学講座 都市エネルギーシステム領域 下田研究室



ここがポイント！【研究内容】



- 脱炭素化のためには、対策技術の明示、技術導入の効果の定量化、求められる削減水準に応じた選択枝を明確化が重要です。
- 省エネルギーやエネルギー管理のポテンシャルは大きいですが、総体をとらえるのは難しい。これを実現するために、民生家庭・業務部門を対象として、コンピュータ上でエネルギー需要が形成される構造を再現し、技術選択や人の行動のモデリングを含め、エネルギー需要を推計するモデルを開発しています。
- 省エネルギー、再生可能エネルギー、電化、電気自動車等主要技術を含めた脱炭素シナリオを開発しています。

応用分野 脱炭素化、エネルギー政策

論文・解説等

- [1] Yamaguchi, Y., 他5名, *Applied Energy*, 2022; 303: 117907.  
[2] Perwez U., Yamaguchi Y., 他3名, *Applied Energy*, 2022; 323: 119536.  
[3] Yamaguchi, Y., 他6名, *Applied Energy*, 2023; 333: 120568.

連絡先 URL

<http://www.see.eng.osaka-u.ac.jp/seeue/seeue/>

